

国語科学習指導案（2年3組）

1 単元 新聞の投書記事を書く

2 単元設定の理由

(1) 教材観

①学習指導要領上の位置付け

〔知識及び技能〕

(1)オ 話や文章の構成や展開について理解を深めること。

〔思考力、判断力、表現力等〕

B (1)ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。

イ 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫すること。

②単元の価値

本単元は、社会生活などから課題を見つけ、自分の意見を明確にし、「序論—本論—結論」という三段構成や「頭括型・尾括型・双括型」という文章構成法を生かした文章の書き方など学ぶものである。意見文を書く活動は、小学校段階、中学校第1学年でも既習の活動だが、「構成」を意識することで、より説得力のある文章の書き方を身に付けることができるようにする。具体的な言語活動として新聞の投書記事を書き、実際に投稿することを設定することにより、生徒の学習意欲を高めるとともに、読み手に分かりやすく伝わるよう、段落相互の関係などを明確にし、構成や展開を工夫する力を身に付けることができると思う。

③題材の系統性

・第1学年の題材「体験したことを文章にする」において、自分の体験をもとに時間の順序に沿って文章を書く学習を行った。

・第3学年の題材「広告を批評する」において、自分の考えを効果的に伝えるために構成や論理の展開を工夫して批評文を書く学習をする。

(2) 生徒観（男子17名、女子17名 計34名）

①既習の学習内容や活動

・第1学年の題材「体験したことを文章にする」において、マッピングなどを使って情報を集めて整理し、文章を構成する際には、時間の順序に沿って書くことを学んだ。

・4～5月に、校内弁論大会に向けて、自分の考えを1600字程度の文章にまとめ、学級内で発表し合う活動を行った。

②本題材に関わる生徒の実態

・「文章の構成や展開」に関しては、「序論—本論—結論」や「頭括型・尾括型・双括型」という言葉についての知識はあるが、相手や目的に応じて工夫できる生徒は少ない。三段構成や文章構成法のそれぞれの役割や効果について考える場を設けて理解を深めさせ、文章作成に生かすことができるようにする。

・「段落相互の関係」に関しては、内容のまとまりごとに段落を分けるという意識が低い生徒や、接続する語句を効果的に使うことができない生徒が見られる。例文から学ぶ場を設けたり、個別指導を取り入れたりして、段落相互の関係を意識して文章を書くことができるようにする。

(3) 指導観

・つかむ過程において、自分の書いた記事を実際に投稿することを伝えることで、学習意欲を高めることができるようにする。また、群馬大学准教授河内昭浩先生のご指導のもと、新聞の投書記事を「読む」学習を行うことにより、中大連携によって生徒の学習意欲を喚起するとともに、「何を」（題材の設定・情報の収集）、「どのように」（構成や展開の工夫）書けばよいかをつかみ、その後の書く活動に見通しをもって主体的に取り組むことができるようにする。

・追究する過程の構成を考える際は、第1学年の「読むこと」の学習で学んだ「図式化」の手法を用いることによって、段落相互の関係が明確な文章を書くことができるようにする。

・毎時間の終末に、単元の課題や本時のめあてと照らし合わせて、「何を学んだのか」や「どのように学んだのか」について振り返りを書くことにより、自己の学びへの充実感や達成感を自覚させ、学びへの意欲が高まるようにする。

3 単元の目標

投書記事を書く活動を通して、相手や目的に応じた文章の構成や展開について理解し、段落相互の関係に気を付けながら、自分の考えが読み手に分かりやすく伝わる文章になるように工夫して書くことができるようにする。

4 指導と評価の計画（別紙参照）

5 本時の展開（4 / 5）

(1) 目標

構成メモをもとにアドバイスし合うことを通して、読み手により伝わる文章になるように、構成・展開や表現を工夫して投書記事を記述することができる。

(2) 展開

学習活動と予想される生徒の反応	指導上の留意点及び支援・評価
<p>1 本時の課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日は、よりよい投書記事にするために、構成メモについてアドバイスをし合い、それをもとに投書記事を書くのだな。 	<p>○実際に新聞社に投書するにあたり、よりよい文章にするために考えを練ることが必要であること、構成メモを客観的に友達に見てもらふことにより、自分では気付かないところに気付くことができることを確認し、本時の学習への意欲を高められるようにする。</p>
<p>課題：構成メモをもとにアドバイスし合い、読む人に分かりやすい投書記事を書こう。</p>	
<p>2 互いに構成メモを見合い、アドバイスを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○班で互いに構成メモを見合い、参考にしたいところや改善すべきところを伝え合う。 この根拠だけでは説得力がないと思うよ。他にもこんな根拠があるのではないかな。 根拠のあとに具体例があった方がより説得力が増すと思うな。 友達の構成がとても参考になったから、自分の投書記事に生かしたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○構成と表現について、これまでの学習をもとに、具体的にどんな観点でアドバイスができそうかを生徒に考えさせ、主体的に活動することができるようにする。 ○班の友達の構成メモを読み、配付されたワークシートに、参考にしたいところと改善すべきところを書く時間を十分確保し、どの生徒も意見交流に参加できるようにする。 ○新聞という媒体であることに意識を向けさせ、自分たちだけでなく、さまざまな世代や立場の読み手がいることを想像して、分かりやすい文章になっているか考えさせる。 ○アドバイスを伝え合う際には、記述したアドバイスカードをもとに、順に口頭で伝えるようにすることで、他の友達へのアドバイスも参考にして、よりよい文章づくりにつなげられるようにする。
<p>3 もらったアドバイスをもとに投書記事を記述する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○友達からもらったアドバイスを生かして構成メモを修正する。 ○構成メモをもとに、投書記事を書く。 誰もが分かる言葉を選ぶ必要があるのだな。 より分かりやすくなるように、段落の順番を変えてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○アドバイスをもとに構成メモを修正した上で、原稿用紙に投書記事を書くよう促す。その際、第1時のワークシートを見返すよう指示し、体言止めなど表現の工夫も取り入れながら書くことよいことを伝える。 ○席は向かい合わせのままにして互いに相談しやすい環境を作り、協働して学習を進めることができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【思考・判断・表現】 アドバイスを参考にして、読み手に伝わる構成・展開や表現を工夫して文章を書くことができる。（原稿用紙、ワークシート）</p> </div>
<p>4 本時のまとめ・振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートに本時の振り返りを書くよう促し、次時は学習全体を振り返り、自分の考えを相手に伝えるための工夫についてまとめることを伝え、見通しをもたせる。
<p><振り返り></p> <ul style="list-style-type: none"> 友達の構成メモを読んだり、アドバイスをもらったりして、根拠の順番を変えたり意見をもっと分かりやすい表現にしたりした方が良かった。 	

<「思考力、判断力、表現力等」育成のための具体的な手だて>

(1) 「読むこと」で学んだことを「書くこと」に生かす学習過程の工夫

指導と評価の計画 国語科 2年 単元「新聞の投書記事を書く」(全5時間計画)

目標	投書記事を書く活動を通して、相手や目的に応じた文章の構成や展開について理解し、意見と根拠など段落相互の関係に気を付けながら、自分の考えが読み手に分かりやすく伝わる文章になるように工夫して書くことができるようにする。				
評価規準	<p>【知識・技能】 相手や目的に応じた文章の構成や展開について、理解を深めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 新聞の投書記事として自分の考えが分かりやすく伝わるように、意見と根拠など段落相互の関係に気を付けながら、文章の構成や表現を工夫して書くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 社会生活の様々な事柄に関心を持ち、投書記事の特性を意識しながら、多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書こうとしている。</p>				
過程	時間	目標・課題	学習活動	振り返り	評価項目 (方法・観点)
つかむ	1	<p>◎新聞の投書記事に興味をもち、分かりやすい文章を書こうとしている。</p> <p>投書記事には「何を」「どのように」書けば良いのか考え、学習の見通しをもとう。</p>	<p>○投書記事について知る。</p> <p>○本単元の課題を知る。</p> <p>○複数の投書記事を読み、「何を」「どのように」書けば良いのか考える。</p>	<p>☆自分の考えたことを書いて新聞に送った文章を投書記事というのだな。自分の文章が新聞に載るのだから、読む人に自分の思いが伝わる文章を書けるように頑張りたいな。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】 新聞の投書記事に興味をもち、分かりやすい投書記事を書こうとすることができる。(観察、ワークシート)</p>
		<p>単元の課題： 自分の考えがよく伝わるように構成や表現を工夫して、新聞の投書記事を書こう。</p>			
追	1	<p>◎社会生活の中からテーマを決め、自分の考えをまとめることができる。</p> <p>社会生活の中から題材を設定し、自分の考えを明確にしよう。</p>	<p>○図書室の本やインターネットを活用して、投書記事を書くためのテーマを決めたり、テーマについての意見やその根拠を書き出したりする。</p>	<p>☆テーマはすぐには決まらなかったが、図書室の本を参考にして、決めることができた。</p> <p>☆このテーマについてはいろいろな意見があると思うが、私なりの考えを決め、根拠もたくさん挙げる事ができた。</p>	<p>【思考・判断・表現】 社会生活のなかからテーマを決め、自分の立場を明確にして自分の意見を書いている。(ワークシート)</p>
		<p>◎自分の考えがよく伝わる構成や展開の方法を理解することができる。</p> <p>読む人に自分の考えが伝わるように、構成や展開を考えよう。</p>	<p>○三段構成の内容や文章構成法について確認する。</p> <p>○テーマについての意見やその根拠、構成を図式化しながら考え、まとめる。</p>	<p>☆1年生の時に説明文を読む学習で学んだ図式化を使って、構成メモを作ることができた。</p> <p>☆自分の意見がしっかり伝わるよう、双括型で書こうと思う。</p>	<p>【知識・技能】 相手や目的に応じた、三段構成の内容や文章構成法を理解することができる。(ワークシート)</p>
究	1	<p>◎構成メモをもとにアドバイスし合うことを通して、読み手により伝わる文章になるように、構成や表現を工夫して記述することができる。</p> <p>構成メモをもとにアドバイスし合い、分かりやすい投書記事を書こう。</p>	<p>○互いの構成メモを読み合い、アドバイスを送り合う。</p> <p>○もらったアドバイスをもとに、構成メモを見直す。</p> <p>○構成メモをもとに、原稿用紙に投書記事を書く。</p>	<p>☆友達の構成メモを読んだり、アドバイスをもらったりして、根拠の順番を変えたり、意見をもっと分かりやすい表現にした方が良かった。</p> <p>☆誰にでも分かりやすいように言葉の使い方に気を付けて文章を書くことができた。</p>	<p>【思考・判断・表現】 アドバイスを参考にして、読み手に伝わる構成や表現を工夫して文章を書くことができる。(原稿用紙、ワークシート)</p>
る	1 (本時)				

まとめる	1	<p>◎自分の考えを相手に伝えるための工夫についてまとめることができる。</p> <p>学習全体を振り返って、学んだことやできるようになったことをまとめよう。</p>	<p>○自分の投書記事を読み返し、学んだことやできるようになったことをまとめる。</p> <p>○班やクラス全体で発表し合い、共有し、一般化する。</p>	<p>☆内容のまとまりごとに段落を分け、段落同士の関係性を考え、構成を工夫して文章を書くことができた。</p> <p>☆投書記事なので、いろいろな世代に人に伝わるよう、言葉を選んで書くことが大切だと分かった。</p>	<p>【思考・判断・表現】 自分の考えを文章で相手に伝えるための工夫についてまとめることができる。 (ワークシート、振り返りカード)</p>
------	---	-------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------